

長野県市長会 6月定例会 会議録

平成 30 年 6 月 5 日（火） 17：20～17：52

都市センターホテル 6 階 606

1 開 会

（百瀬事務局次長）

それでは、定刻となりましたので、ただ今から、長野県市長会 6 月定例会を開会いたします。はじめに、小口会長からご挨拶をお願いいたします。

2 会長挨拶

（小口会長）

はい。改めまして、みなさんこんにちは。

全国市長会の合間を縫っての 6 月の長野県市長会でございます。それぞれ、たまに東京に來ればいろいろな都合がある中で、ご参加を賜りありがとうございます。定例会の後も、ご都合のある方もおられるようでございますので、短時間で中身の濃い会議にし、その後、懇親会を行う段取りになっておりますので、会議進行にご協力をお願い申し上げる次第でございます。

4 月以降の概要についてご報告申し上げます。

去る、4 月 22 日に投開票のございました、伊那市長選挙におきまして 3 選を果たされました白鳥伊那市長さんでございます。ご当選、誠におめでとうございます。ぜひ、また、19 市共に力を合わせてまいりたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

また、4 月の長野県市長会総会ならびに 5 月のあわら市での北信越市長会総会におきましては、数々の議題をご論議いただきました。こちらにつきましては、明日行われます全国市長会の場に北信越市長会を経由して上がっているものもございまして、国に対する要望や決議など協議していただくことになってございます。

また、その際、市長会総会において、全国市長会の会長選挙について皆様にお諮りし、長野県の 1 票と、また、私の立場からは北信越市長会の 1 票ということで、合わせて 2 票、投票させていただきました。6 月 1 日にこの場所におきまして開票作業が行われまして、私も同席させていただきましたが、その結果はすでに全国市長会からもそれぞれ連絡がきているとおり、立谷相馬市長さんが、56 票中 40 票を獲得されておりますので、ご報告申し上げます。

故をもって、明日の総会において、新会長以下の新役員が決定する運びとなっております。

また、5 月 29 日に開催されました、第 15 回目となります「県と市町村との協議の場」においては、「ごみの排出量の更なる削減に向けた取組について」がテーマとなりました。

ご承知のように、長野県は、全国一、1人1日当たりのごみの排出量が少ない県として、私はあまり認識がなかったのですが、3年連続でチャンピオンになったそうでございます。

ただ、目標値に比べれば、まだ1人当たり15gくらい多いということで、更に、これを進めていくためにテーマとして扱われた次第でございます。

非常に難しいテーマでございますし、また、15回を数えておりますと、具現化できるような、結果の出るテーマがなくて苦慮しているという、私の個人的な感覚もございました。

この場所におきまして、宮澤安曇野市長さんが4月の市長会総会の議題にも上げていただいて熱心に議論していただきました全県統一サイン、看板について、ぜひ次の「県と市町村との協議の場」の議題として取り上げていただき、具体的な進捗のある形にしてほしいという提言を、私の方からさせていただきましたので、そのような方向も検討していただけるのではないかと思います。

また、5月21日には、都道府県会館におきまして、長野県関係の国会議員との懇談会が実施されました。阿部知事、藤原町村会会長等との、長野県内地方六団体の関係者とともに議論を行いました。一部の議員は秘書であったと承知いたしますが、大方の参加をいただきまして、継続的なテーマが多いわけでございますが、理解を深めていただいております。市長の皆様におかれましては、それぞれの立場において機会を見つけて、具体的な進捗があるように関係議員に対してご提言いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、その懇談会に先立ち、同じく六団体の提案・要望ということで、野田総務大臣、斎藤農林水産大臣等、直接ご本人がおられまして提言書をお渡ししてきた次第でございます。

最後になりますが、本年は全国市長会創立120周年でございます。そのようなこともございまして、先ほどまで記念フォーラムに皆様ご参加いただいたと思います。故に、少し、この長野県市長会のスタート時間が遅くなっておりますので、なるべく短時間で切り上げたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

3 当選市長紹介

(百瀬事務局次長)

ありがとうございました。

続きまして、先ほどお話にもありました、本年4月に開催しました市長会総会以降に当選されました市長様をご紹介します。4月15日告示、22日投開票の伊那市長選挙におきまして3選を果たされました、白鳥孝伊那市長様です。恐れ入りますが、その場で一言ご挨拶をお願いいたします。

(白鳥伊那市長)

4月22日の選挙において3選ということで、また皆さんと一緒に市長職を務めさせてい

たきます。時代が変わって、荒波の中ではありますが、しるべとなるような星を見失わないように、しっかりと、また皆さんとも連携し、いろいろな情報交換をしながらやってまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(百瀬事務局次長)

ありがとうございました。

本日の定例会は、会議録をホームページ上で公開する会議としております。事務局におきまして作成した会議録を確認していただいた後、ホームページに掲載させていただきますので、ご承知おき願います。

会議に入ります前に、本日、岡田千曲市長さんが所用により参加できなくなりまして、山本副市長さんが代理で出席されております。また、後ほど長野県からご説明いただく場面もありまして、長野県東京事務所の吉沢所長さんにもご同席いただいておりますので、ご承知おき願います。

それでは会議に入ります。慣例によりまして小口会長に座長をお願いいたします。

4 会 議

(1) 会務報告

(小口会長)

それでは、まず4の会議の(1)といたしまして、「会務報告」を議題といたします。局長から説明を、お願いいたします。

(青木事務局長)

事務局長の青木でございます。着座にて説明をさせていただきます。

まず、資料の1「会務報告」でございます。冒頭に会長さんからご報告もございましたので、私の方からは簡潔にお話しさせていただきますと思います。

まず、総会は4月19日で行われました。審議事項としまして、第2にあります各市からの提出議題8件、それから第3の副市長・総務担当部長会議送付議題につきましては、1件の取り下げがございましたものの、全体で23件中22件という形での整理がされておまして、処理経過欄、ここにご覧いただきますような処理経過となっているところでございますので、ご承知いただきたいと思っております。

おめくりをいただきまして、3ページでございます。第4、事務局提出議題につきましては、記載のそれぞれの内容につきまして、特に(2)にございます、市長会から選出する各種団体の役職等についてのご決定をいただいたところでございます。

それから、おめくりをいただきまして4ページ、県からの施策説明ということで、今年度は少し項目が多かったというように思いますが、各市から要望のありました事項を中心に、18項目にわたりまして県から説明がございました。

役員会、それから北信越市長会の関係につきましては、ご覧のとおりでございます。北信越市長会での関係につきましては、本会からの提出議題はすべて原案のとおり採択されまして全国市長会に提出されておりますし、6ページの決議の関係につきましては、五つの決議がすべて原案のとおり採択され、全国市長会に提出したところでございます。

第3にありますように、次期北信越市長会総会でございます。東御市さん、上田市さんの共同開催により、10月18日から19日に大変お世話になります。どうぞよろしく願い申し上げます。

それから、4の全国市長会は記載のとおりでございます。

5の「県と市町村との協議の場」は先ほど会長さんからお話がありました。後ほど、若干、資料で説明をさせていただきます。それから、7ページ下段でございます。8の長野県関係国会議員との懇談会につきましても、後ほど、別途ご報告させていただきます。

それから、8ページでございます。大きいⅡ、要請・要望活動でございます。これも、先ほど会長からお話がありましたとおり5月29日、正副会長から知事、県議会、自民党県連及び国民民主党県連に対しまして、それぞれ、要望、あるいは陳情を行わせていただいたところでございます。

それから、11ページでございます。大きなⅣ、関係団体役員等の推薦又は委嘱の関係でございます。前回の総会、それから本定例会で、昨日までに専決したものも含めまして、その中で市長さん方に関係するもの、それから職員の皆様の選出に係るご報告等で、13ページまでにわたりまして、それぞれ記載させていただいてございます。

会務報告については、以上でございます。

(小口会長)

会務報告につきまして、質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。

○ 「なし。」の声あり

(2) 協議事項

(小口会長)

はい。それでは、確認いただいたということで次に移ります。

(2)「協議事項」に入ります。「市長会から選出する各種団体等の役職について」を議題といたします。事務局から説明をしてください。

(青木事務局長)

はい。それでは資料の2をご覧いただきたいと思います。「市長会から選出する各種団体等の役職について」でございます。

1といたしまして、「長野県から要請されているもの」ということで記載させていただい

ております。最初に、長野県がん対策推進協議会の委員でございますが、これにつきましては、引き続き池田中野市長さんをお願いしたいと思います。それから、長野県景観審議会につきましては、これも引き続きでございます、白鳥伊那市長さんをお願いしたいと思います。それから、消防防災航空体制のあり方検討会、これにつきましても引き続きでございます、白鳥伊那市長さん、足立飯山市長さんに、それぞれお願いをさせていただきたいと思っております。

それから、大きな2「各種団体等から要請を受けているもの」でございます。まず、相談役さんをお願いするということでございますが、日本赤十字社の代議員候補者として、母袋上田市長さんの後任ということでございますが、菅谷松本市長さんをお願いを申し上げるものでございます。

それから、次のページでございます。経済部会の関係でございますけれども、3団体から依頼を受けております。これも、すべて引き続きのものでございます。長野県緑の基金の理事に、花岡東御市長さん。それから、長野県原種センター理事に、岡田千曲市長さん。同じく、長野県林業労働財団理事に、岡田千曲市長さん。それぞれをお願いをするものでございます。

推薦文等につきましては、それぞれ3ページ以下に付けさせていただいてございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(小口会長)

はい。ただ今の説明につきまして、質問等ございましたら、お願いいたします。

○ 「なし。」の声あり

(小口会長)

よろしいでしょうか。それでは、今、候補者ということで説明があったとおり決してよろしいでしょうか。

○ 「異議なし。」の声あり

(小口会長)

はい、ありがとうございます。それでは、事務局案どおり承認いただいたということで決めます。それぞれの市長さん方におかれましては、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

(3) 報告事項

(小口会長)

次に、(3)「報告事項」に移ります。ア・イ・ウ・エと4項目ございますが、一括して説明をお願いします。

(青木事務局長)

それでは、私の方から一括報告をさせていただきます。

まず、資料の3でございます。先ほどもお話のございました、長野県関係国会議員との懇談会の状況でございます。5月21日、都道府県会館にて、出席者は記載のとおりでございます。(2)でございますように、県内地方六団体の長との懇談会を実施したものでございます。平成25年度から始まったものでございまして、本会からは、小口会長さんにご出席をいただきました。

4の懇談内容につきましては、県政の重要課題について、県からの説明と、それに対する意見交換が行われたものでございます。内容につきましては、別添、7ページから、おめくりいただきますと、「提案・要望事項」ということで目次を付けさせていただいております。その、両面でございますけれども、1から15までの項目についての提案・要望をさせていただいたものでございます。

それから、表に戻っていただきまして、5の「その他」でございますが、懇談会に先立ちまして、県内地方六団体合同で、関係省庁への提案・要望を実施させていただいたものでございます。そこに記載がございますように、六団体としましては、文部科学省から総務省まで、記載の内容につきまして、文部科学省につきましては審議官でございましたけれども、農林水産省、国土交通省、総務省は、いずれも大臣にお会いすることができまして、それぞれ具体的な要望活動を行った内容となっております。資料3につきましては、簡潔でございますが、以上でございます。なお、他の項目につきましては、県の職員が関係省庁に要請を行っておりますので、ご承知おき願いたいというように思っております。

それから、資料の4に参りたいと思います。これも会長さんからお話のございました、第15回になります「県と市町村との協議の場」でございます。5月29日、県庁で行われました。本会からは、正副会長さんと3人の理事、牧野市長さん、牛越市長さん、花岡市長さんに、ご出席をいただいたところでございます。議事の内容、報告事項といたしましては、連携作業チームにおける検討事項、それから、意見交換は、先ほどもお話のございました、ごみの関係についてでございます。

少しおめくりをいただきまして、資料1「県・市町村事務連携作業チームにおける検討状況」ということで、中間報告をいただいたところでございます。経過でございますように、二つの部会を、今、設置してございます。「道路・橋梁部会」、それから「消費生活部会」、それぞれ2回にわたりまして会議が開催されました。2の「部会における検討状況」ということで、消費生活部会につきましては、検討テーマが「消費生活センターの共同設置」の関係でございます。このセンターにつきましては、19市では設置済みとなっておりますけれども、長野県内小さな市町村が多い中での連携ということが課題となっております。

ますし、(2)の道路・橋梁部会につきましては、「道路・橋梁の維持管理、法定点検」の関係につきまして、＜議論のポイント＞にありますような体制整備の関係が議論となっております。

今後の予定でございますが、引き続き部会で議論を行った上で、作業チームで検討結果を総括いただきまして、11月の第16回の「県と市町村との協議の場」に報告をされるというように承知をしているところでございます。

それから、続きまして、ごみ減量化の関係につきましては、たくさん資料が付いてございます。資料の2-1から始まりまして、いろいろ資料の説明等もありました。その中で非常に活発なご意見をいただいたところでございます。それぞれの資料の説明は申し上げませんけれども、15ページにわたりまして資料を付けさせていただいてございます。

主な議論の中身としましては、松本市さんで始められました「30・10運動」の長野県内における展開の話でございますとか、また、移住者のごみ分別への理解というようなことを県全体としてどう進めるかということ、それから、SDGsの観点で、地域循環の推進というようなことも、例えば、こども食堂というようなことも視野に入れながら、ということでもございました。

それで、36ページをご覧いただきたいと思います。今回の「県と市町村との協議の場」におけます確認事項を、大きく二つにまとめられてございます。

1番は、先ほど申し上げましたように、「引き続き、この作業チームで検討を進めること」とされております。

2のごみの関係でございますが、(1)、(2)とございます。まず、(1)をご覧いただきますと、「2020年度における1人1日当たりのごみ排出量795gの目標を達成するため、食品ロス削減などの効果的な取組の横展開を図る等、地域ごとの課題を『チャレンジ800実行チーム』、これは11ページに記載をさせていただいております。そのような実行チームがございまして、今後分析・情報共有しながら取組を進める」というようにされております。

また、(2)にございますように、「県と市町村等が広域的に連携し、廃棄物を資源として地域で循環させる『地域循環圏』の構築に向けて、『チャレンジ800実行チーム』で検討を行う」ということでの確認事項がなされたところでございます。

資料の4につきましては、以上でございます。

続きまして、資料はございませんけれども、次第の方にお戻りいただきまして、第143回総会の開催でございます。前回もお話し申し上げましたが、8月23日におきまして松本市で開催をお願いするものでございます。市長さん方のあらかじめの予定をお願いするものでございます。松本市さんには大変お世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

それから、報告事項の最後でございます。資料の5でございます。「市長会から選出する各種団体等の役職について」の報告でございます。本定例会の前に対応する必要があったものについて報告をさせていただきます。

まず、一つとしまして、県から要請されているもので会長にお願いするものでございます。平成 39 年の国体も控える中で、「長野県競技力向上対策本部本部会議」というものが設置されますが、その委員を小口会長さんにお願いするものでございます。それから社会環境部会の関係で「長野県“自治力”による健康づくり推進会議（仮称）」でございますけれども、そこへの参加、出席を求められておりまして、これにつきましては、今井岡谷市長さんにお願いするものでございます。

それから、2 番目でございます。会長にお願いするものとしたしまして、長野県信用保証協会、それから長野県市町村振興協会、それぞれの理事をお願いいたします。

それから、市長会の監事が就任するものということで、市町村振興協会の監事を、柳平茅野市長さんにお願いをするものでございます。

関係資料は、次ページ以降に付けさせていただきます。

大変早口で申し訳ございませんが、資料の関係について、それぞれご報告をさせていただきました。よろしくお願い申し上げます。

（小口会長）

はい。（3）「報告事項」4 件を、今、ご報告申し上げましたが、全体を通じて質問・ご意見ございましたら、お願いいたします。

（宮澤安曇野市長）

先ほど最後に話のあった、ごみ減量化の確認事項についてです。2 番の（2）のところの「県と市町村が広域的に連携をして、『地域循環圏』の構築に向けて」ということですが、どのようなイメージになるのですか。

（青木事務局長）

資料といたしましては、おめくりいただきまして、「参考」というところで、13 ページの説明がございました。ここで「地域循環圏について」ということでイメージ図の記載がされてございます。言葉としての説明は上の方にございます。「地域の廃棄物処理の実情、廃棄物の種類」、この中には、生ごみや家畜のふん尿、木くずなどがあるということでございますが、資源として地域循環可能なものはなるべく地域で循環させ、それが困難なものについては、物質が循環する環を広域化させていき、重層的な地域循環を構築する。ということなどの説明があったところでございます。

イメージ図のところにもございますように、ごみの排出ということがありますけれども、それを、広域市町村における統一的な発生抑制・資源化の取組を通じまして、できるだけ資源化するというようなこと。その中でリサイクルを進めて、農産物生産・家庭菜園というようなことで、また、元に戻すというのですか、循環の環を作っていくというようなこと。

それから、例えば、今、「こども食堂」ということで、子どもの貧困対策も含めながらでございます、フードバンクというようなものが、こども食堂という形の中で進められている地区がございます。そのような中にも、食べられるものを、まだ廃棄するのではなくて、食品の提供という形で、そのようなことも含めての地域循環ということ、全体として進めていきたいという説明があったところでございます。

(宮澤安曇野市長)

はい、分かりました。

それで、もう1点、ここの13ページにイメージ図があるのですが、バイオガス発電というような形の中で、例えば、これらは、民間の活用といいますか、資本を入れるのか、県としては、財政的な支援や、何か施設整備などは今後考えていくということになるのですか。

(青木事務局長)

担当部局の方からは、これから議論を進めていくという話があったように承知をしているところでございます。

(宮澤安曇野市長)

はい、分かりました。

(小口会長)

よろしいでしょうかね。

先ほど少し冒頭で触れましたように、県下統一の基準を作って、がちがちに締めてやっていくという方向ではなかったと思って聞いておりました。

(青木事務局長)

大変失礼いたしました。

それで、「県と市町村との協議の場」で幾つか資料提供があったのですが、それを少し、ご説明していなかったものですから、お願いしたいと思います。

「県と市町村との協議の場」の16、17ページでございます。「今後の松くい虫対策の基本的な考え方」ということで、林務部の方から資料提供がございました。

私も専門ではないのですが、松くい虫被害と対策効果の見える化」ということでの取組でございます。17ページにもございますように、松くい虫被害を分かりやすく説明できるような資料、このようなものを作っていくということだろうと思っております。そのようなことを通じまして、松くい虫対策のパッケージ化の取組を進めていくということで、情報提供がありました。

それから、18 ページから 35 ページにかけまして、今日も分科会の方での説明があったと思います。特に行政の分科会では、「自治体戦略 2040 構想研究会」第一次報告の概要ということでの説明がありました。これも、これからの中では大変重要なことであろうと思います。35 ページにも、「今後の検討の方向性」という記載もされているところがございます。また一読していただければというように考えているところがございます。

以上でございます。

(小口会長)

はい。その他にはよろしいでしょうか。

よろしければ、こちら全般について、確認したということで決してよろしいでしょうか。

○ 「はい。」との声あり

(小口会長)

はい、ありがとうございます。

特に「ウ」にあります松本市さんにおいて行われる、8月23日の第143回長野県市長会総会、よろしく願いいたします。

(4) その他

(小口会長)

(4)「その他」に入ります。事務局から何かございますでしょうか。

(青木事務局長)

特に事務局からはありません。

(小口会長)

よろしいですか。特に市長さん方から発言等ございましたら、お願いいたします。

○ 「なし。」の声あり

(小口会長)

よろしいですか。はい。それでは(4)の「その他」まで終了いたします。

5 その他

(小口会長)

では、全体を通じて、5「その他」は何かありますか。

(青木事務局長)

はい。長野県から情報提供がありますのでお願いします。

(小口会長)

はい。東京事務所の方から資料提供がございますので、しばし時間をとりますので、よろしくお願いたします。

(吉沢東京事務所長)

はい。東京事務所の吉沢と申します。本日は、市長会の定例会で時間を頂戴いたしまして、ありがとうございます。

県の方で、特別職の退職手当の支給方法等につきまして、今回、特別職の報酬審議会が開催されて答申がありましたので、その点について私どもの方から情報提供をさせていただきたいと思ひます。すみません、座って説明させていただきます。

お手元に、少し字が小さくて恐縮なのですが、「資料6」と右上にゴム印を押してあるものがありますので、そちらをご覧いただきたいと思ひます。

今回の特別職の報酬審議会ですけれども、知事の給料月額、あるいは退職手当の支給基準等とともに、再任した場合の退職手当の支給方法につきまして審議をいただきました。この背景としまして、退職手当に係る課税の見直しというものが平成25年にございまして、以前は勤続年数にかかわらず所得金額の2分の1として税率を掛ける措置であったのですけれども、見直し後は、勤続5年以下の法人役員等の退職金につきましては、その2分の1とする措置が廃止されたということがございます。

それで、今回、審議会におきましては、他県の状況を確認させていただきました。それが、本日提供させていただいた資料6というものでございます。平成25年の改正後、平成25年の4月には兵庫県で改正いたしまして、今年4月1日時点では、10の府県で改正済みというようになっております。少し右下に「10」と書いてありますものは、その数字なのですけれども、その左側に「原則8」と書いてあるものは、最終対象日、これは少し分かりにくいですが、「通算」という意味です。通算の支給を原則として、申し出によって任期ごとの支給も可能とする。という、そのような県が出てきているということでございます。

審議会の中で委員からは、「民間におきましては、任期ごとではなく、通算して支給しているといった状況がある。」、それから経過等を見ますと、「今後も通算を行う方法が広がっていくということも考えられる。」というようなご意見をいただきました。それで、5月29日に審議会としての答申をいただきましたけれども、再任した場合の支給方法につきましては、民間や他県の状況を考慮して、「原則、任期を通算して支給するものとするが、本人が申し出た場合には任期ごとに支給することも可能となるように改正することが適当」

という、そのような答申をいただいております。

答申をいただきまして、今後、県の方では条例の改正案を検討していくということになろうと思いますので、本日、情報提供をさせていただきました。

お時間をいただきまして、ありがとうございました。

(小口会長)

よろしいでしょうか。

簡単に言うと、5年未満で1回ごとにもらってしまうと税率が高いので、通算にしてもいいようにしていただけるという意味だそうでございます。

その上で、各市の条例が県に倣っているので、県がここで6月議会にかければ、速やかに、市もやった方がいいのかなど。直近で該当するところが、大町市さん、飯山市さん、3番目が私の塩尻市ということになると。そのようなことでございますので、お含みおき賜ればと思う次第でございます。

よろしいですかね。

○ 「はい。」との声あり

6 閉 会

(小口会長)

はい、ありがとうございます。以上でよろしいですか。

その他、特になければ、本日の6月定例会は以上をもちまして終了させていただきます。ありがとうございました。

(百瀬事務局次長)

どうもありがとうございました。以上で6月定例会を閉会といたします。この後、6時から懇親会となっておりますが、後の時間もありますので、市長さん方がそろい次第、始めさせていただきたいと思っております。この会場を出ていただきまして、正面が会場となっておりますので、そちらの方にご移動を、よろしく願いいたします。